

1938

昭和13年阪神大水害

阪神大水害デジタルアーカイブ

公開
イベント
開催

阪神大水害から80年

～個人の記憶を社会の記憶に～

開催日 **11月24日(土)** (開場12:30)
平成30年 13:30～16:30

参加無料
先着200名様

※参加申込はお早めをお願いいたします

会場 **兵庫県看護協会2階「ハーモニーホール」**

- [神戸市営地下鉄] 県庁前駅西出口4より徒歩2分
- [JR] 元町駅 西出口より山手方面へ徒歩8分
- [私鉄] 阪神元町駅西出口より山手方面へ徒歩8分、阪急花隈駅東口より山手方面へ徒歩10分



旧阪神大石駅前の惨状

駅前の橋が詰まり、溢れかえった土砂や流木が街中まで襲ってきました。



大きな被害にあった湊川実業女学校

突然の土砂に自分も押し流され、若い男性に助け出してもらいました。

たくさんの災害情報、 ありがとうございました!

お寄せいただいた
体験談や写真などが
デジタルアーカイブに
なりました!



土砂や流木が押し寄せた三宮のそごう前

祖父が当時の惨状を撮影し残してくれました。

参加申込方法

専用HP・フリーダイヤルから
お申し込み下さい。

専用HP <https://sanka.sabopc.or.jp/archive/> (受付期間: 11月16日(金) 17:00まで)

電話FAX ☎0120-222-468 (受付期間: 11月16日(金)までの 平日10:00～17:00)

●先着200名様(お申込みが200名になり次第、受付は終了させていただきますので、ご了承ください。)

◆平成30年11月24日(土)午前7時の段階で大甲山麓(神戸・芦屋・西宮・宝塚市内)において、大規模な災害が発生している場合、または、災害の発生が予想される場合には中止とします。 ◆参加者への中止の連絡は、会場における張り紙及び参加申込専用HPにて行います。



携帯・スマートフォンから



主催 **阪神大水害80年行事实行委員会**

神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、兵庫県、国土交通省六甲砂防事務所、神戸新聞社、有識者

阪神大水害から80年 ～個人の記憶を社会の記憶に～

プログラム	
時間	内容等
13:30～	開会式典
	主催者挨拶
	来賓挨拶
14:45～	実行委員・祝電等紹介
	阪神大水害と近年の豪雨災害について 沖村 孝(神戸大学名誉教授)
14:45～	私の体験した阪神大水害 災害体験者
14:45～	休憩

14:55～	<p>地域のみなさんからの発信 「私たちが知ることのできた 阪神大水害」</p> <p>▶ 発表者1 神戸市立住吉中学校生徒会(住吉川流域)</p> <p>▶ 発表者2 ● 神戸市立渚中学校 防災ジュニアリーダー都賀川チーム ● 新在家ふれあいのまちづくり協議会</p> <p>▶ 発表者3 ● 神戸市立渚中学校 防災ジュニアリーダー生田川チーム ● 災害体験者</p> <p>▶ 発表者4 神戸常盤女子高等学校生徒有志 (新湊川流域)</p>
	講演 「阪神大水害デジタルアーカイブ その意義と活用に向けて」 浦川 豪 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授)
16:25～	閉会挨拶

※出演者/プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。

阪神大水害デジタルアーカイブとは

公開予定 平成30年11月24日(土)

公開先 神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、兵庫県、六甲砂防事務所の各ホームページ
URL <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/S13/index.php>

防災には、地域の災害を風化させず後世へ受け継ぎ、「個人の記憶を社会の記憶に」としていく取り組みが必要です。このアーカイブは、災害当時の写真や体験者の方からの情報などをデジタルで記録し、地図上等に整理・保存する仕組みです。インターネットを通じてどなたでも「昭和13年阪神大水害」の記録を閲覧でき、小中学校の地域学習等にも活用できます。

※下記は制作イメージであり、内容は変更される場合があります。

体験者



伝承プロジェクト



記録映像



流域別



マップ



災害写真



体験者の手記を読む